

マスコミ各位

令和2年2月28日（金）

沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班

担当：久高、岡野

電話：098-866-2215

インフルエンザの流行状況について ～注意報解除～

1 概要

感染症発生動向調査による本県のインフルエンザ定点あたりの患者報告数が、2020年第8週（2月17日～23日）に、7.76人（定点医療機関58カ所、報告数450人）となり、注意報レベルの終息基準値の10人を下回りましたので、インフルエンザ注意報を解除します。

本県では、2019年第52週（12月23日～29日）にインフルエンザ注意報を発令した後、2020年第1週（12月30日～1月5日）の22.84人をピークに以後患者報告数は減少しておりました。

注意報は解除となりましたが、依然としてB型を中心に患者の発生は継続しています。マスコミの皆様には「手洗い」「咳エチケット」等の感染予防策の周知について、改めてご協力いただきますようお願いいたします。また、県民の皆様におかれましては、引き続き感染予防策を徹底していただきますようお願いいたします。

※インフルエンザ流行についての情報は、以下のサイトもご参照下さい。

県ではインフルエンザの予防及び蔓延防止を図るため、別添チラシを作成し、関係機関へ配布しております。チラシは、沖縄県感染症情報センターホームページからダウンロードできます。

○インフルエンザ関連情報

沖縄県感染症情報センターホームページ

<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/influ.html>

厚生労働省インフルエンザ総合ページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuleza/index.html

国立感染症研究所 感染症疫学センターホームページ

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

○沖縄県作成の予防啓発チラシ（PDF）

https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/documents/2018_leaflet.pdf

2 インフルエンザの流行状況

感染症発生動向調査事業において県内のインフルエンザ 58 定点医療機関（小児科定点:34、内科定点:24）の協力を得て、患者情報を週単位で収集し、全国約 5,000 カ所の定点情報と併せて分析し、県民及び医療機関に情報を提供しています。

1) 定点当たりの患者報告数（直近の 7 週間）

	週	2 週	3 週	4 週	5 週	6 週	7 週	8 週
		1/6～ 1/12	1/13～ 1/19	1/20～ 1/26	1/27～ 2/2	2/3～ 2/9	2/10～ 2/16	2/17～ 2/23
県	患者数	1,252	1,220	1,038	782	735	595	450
	定点当	21.59	21.03	17.90	13.48	12.67	10.26	7.76
	流行レベル	注意報	注意報	注意報	注意報	注意報	注意報	
全国	患者数	90,811	83,037	89,436	70,076	44,737	37,198	
	定点当	18.33	16.73	18.00	14.11	9.04	7.49	

[参考] 感染症発生動向調査システム上の警報・注意報の発令基準値

流行注意報	: 定点当たり 10 人以上
流行警報	: 定点当たり 30 人以上
終 息	: 定点当たり 10 人未満

第 8 週における保健所別定点あたり患者報告数は、南部保健所が 10.36 人で最も多く、次いで那覇市保健所 10.08 人、北部保健所 9.20 人、八重山保健所 8.67 人、中部保健所 5.55 人、宮古保健所 0.25 人の順となっています。

2) 県内の型別患者報告数（直近の 7 週間）

週	2 週	3 週	4 週	5 週	6 週	7 週	8 週
	1/6～ 1/12	1/13～ 1/19	1/20～ 1/26	1/27～ 2/2	2/3～ 2/9	2/10～ 2/16	2/17～ 2/23
A 型	1,021	968	752	509	397	266	170
B 型	122	170	199	188	285	285	240
不明	109	82	87	85	53	44	40

3) 年齢階級別報告数（第 8 週）

年齢群	0 歳	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	合計
患者数	8	67	119	89	40	25	35	19	21	27	450
(%)	(1.8)	(14.9)	(26.4)	(19.8)	(8.9)	(5.6)	(7.8)	(4.2)	(4.7)	(6.0)	(100)

4) 休校、学年・学級閉鎖の状況 (2/25～27[第9週の火～木曜日] に措置を開始した施設)

	措置別施設数				地域別内訳					
	休校	学年閉鎖	学級閉鎖	計	北部	中部	南部	那覇市	宮古	八重山
保育園			1	1		1				
小学校		2※1	3	5	2		2			1
中学校		1	3	4			3	1		
高等学校			1	1		1				
計	0	3	8	11	2	2	5	1	0	1

※1 うち1校は別の学年で学級閉鎖も実施

第9週の2月25日～27日の3日間において、11施設で学級閉鎖等の措置が実施されています。施設や地域で流行が確認された場合は、感染拡大防止のために、登園・登校前に体温測定をするなど健康観察を行い、早期発見・早期受診に努めることが重要です。

3 県民の皆様へのお願い

小児がインフルエンザにかかった際は、抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無や種類にかかわらず、異常行動が報告されています。保護者の方は、小児・未成年者がインフルエンザにかかり自宅で療養する場合は、少なくとも発症から2日間、1人にしないよう配慮をしてください。

また園児および生徒の皆様は、インフルエンザを発症した後5日を経過し、かつ、解熱したあと2日（幼児は3日）を経過するまで登園及び登校は控えてください（沖縄県では、登園及び登校に際してインフルエンザ治癒証明書を求めることは控えるようお願いしています）。

○インフルエンザの感染予防策

（流行時の予防方法）

- ① 食事の前や帰宅後には、必ず「手洗い」をしましょう。
- ② バランスよく栄養を摂取し、十分な睡眠をとりましょう。
- ③ 「咳エチケット」を実行しましょう。
- ④ 室内の換気に気をつけ適切な湿度を保ちましょう。
- ⑤ インフルエンザが流行しだしたら、不要不急の外出を避けましょう。
- ⑥ インフルエンザの「予防接種」を受けましょう。
 - ・ワクチン接種を行うことで、ある程度の発症予防効果と、罹患しても症状の重症化を抑えることができると考えられています。
 - ・ワクチンの予防効果が期待できるのは接種後2週から5ヵ月程度と考えられています。
 - ・ワクチンによりA型2種類、B型2種類に対する免疫の獲得ができます。すでに罹患された方でも、別の型への感染予防のために接種することが望ましいです。なお、罹患した場合は治癒後2～4週間程度の間隔をあければ予防接種ができるとされています。

○インフルエンザにかかってしまったら

- ① かかりつけ医にまず相談、受診しましょう（救急医療をつぶさない）。
- ② 感染を広げないために、会社や学校を休み、安静にしましょう。
- ③ マスクを着用し、咳やくしゃみをする時は「咳エチケット」を守りましょう。